

科目名	基礎デザイン							年度	2024
英語科目名	Creative Design Practice							学期	前期
学科・学年	建築設計科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	大澤 公仁		教員の実務経験		あり	実務経験の職種		建築設計	
【科目の目的】 ・幾何学立体を観察し、形態を正しく描き、陰影や素材感をとらえてデッサンすることができる ・アクソメ図やアイソメ図、さらにパースについて理解し立体的に描くことができる ・美しく平面構成する方法を理解し、プレゼンテーションシートを平面構成することができる									
【科目の概要】 形態・陰影・素材感をよく観察し、平面上に正確にデッサンする技術を習得する 立体的な建築空間を表現する際に用いられるアクソメ図、アイソメ図の描き方を習得する 建築・インテリアの空間のポイントをとらえ、1 消点および2 消点のパースの描き方を習得する									
【到達目標】 A. 形態・陰影・素材感を観察し、正確にデッサンできる B. アクソメ図、アイソメ図を理解し描くことができる C. 1 消点および2 消点のパースを理解し描くことができる									
【授業の注意点】 評価は出席状況や提出状況と成果物をルーブリックにもとづいて行い、講評会においても評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	鋭い観察眼から形態を正確にとらえ、ハッチングで陰影や素材感を精緻にデッサンすることができる	形態をとらえるように努力し、ハッチングで陰影や素材感をデッサンすることができる				形態をとらえるように努力せず、ハッチングで陰影や素材感をデッサンすることができていない			
到達目標 B	アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた精緻な立体図を描くことができる	アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた立体図を描くことができる				アクソメ図、アイソメ図を理解しておらず、描くことができていない			
到達目標 C	1 消点や2 消点のパースで、空間のポイントを理解しつつ、魅力的な空間を描くことができる	遠近法を理解し1 消点や2 消点のパースで、空間を描くことができる				遠近法を理解しておらず、1 消点や2 消点のパースを描くことができていない			
【教科書】 『図形ドリル 平面・立体表現の基礎を学ぶ』学芸出版社									
【参考資料】 資料プリント									
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品とプレゼンテーション等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		基礎デザイン				年度	2024
英語表記						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	科目概要説明 第一課題 タングラム	科目の目的・内容を理解する	1	科目概要	科目の目的・内容を理解している	2	
			2	授業方法	他科目との関連や授業実施方法を理解している		
		形を構成し作る	3	タングラム	7種類のピースを構成し目標となる形をつくる		
2	第二課題 立方体の デッサン	立方体を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
3	第三課題 円柱の デッサン	円柱を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
4	第四課題 円錐の デッサン	円錐を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
5	第五課題 球体の デッサン	球体を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
6	第六課題 「陽の家」の アクソメ図	「陽の家」を アクソメ図で描く	1	平面図	平面図を60度と30度に傾けて下描きする	2	
2			壁・建具	壁・建具を寸法通り立ち上げて描く			
7			1	設備	設備を寸法通り立ち上げて描く	2	
	2	造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く				
8	第七課題 「陽の家」の アイソメ図	「陽の家」を アイソメ図で描く	1	平面図	平面図を左右とも30度傾けて下描きする	2	
2			壁・建具	壁・建具を寸法通り立ち上げて描く			
9			1	設備	設備を寸法通り立ち上げて描く	2	
	2	造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く				
10	第八課題 建築パース (1 消点図法)	名作建築①のパースス ケッチを描く	1	透視図の解説	1 消点の透視図の仕組みや描き方を理解する	2	
			2	名作建築①の解説	名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解する		
			3	パース	地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く		
11	第九課題 建築パース (2 消点図法)	名作建築②のパースス ケッチを描く	1	透視図の解説	2 消点の透視図の仕組みや描き方を理解する	2	
			2	名作建築①の解説	名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解する		
			3	パース	地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く		
12	第十課題 建築の旅	名作建築①を訪ね写真を 撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築①を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築①を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
13		名作建築②を訪ね写真を 撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築②を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築②を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
14		名作建築③を訪ね写真を 撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築③を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築③を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
15		名作建築④を訪ね写真を 撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築④を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築④を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							